

☆メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

○日時：令和3年2月2日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：幼児

《1月のおはなし会で使った本》

『たこたこあがれー』（紙芝居） すとうあさえ/脚本 童心社 2015

『三びきのやぎのがらがらどん』（大型絵本） マーシャ・ブラウン/え 福音館書店 2016

『あぶくたった』（大型絵本） さいとうしのぶ/構成・絵 チャイルド本社 2019

『ワタのどうぶつかくれんぼ』（紙芝居） オームラトモコ/作・絵 教育画劇 2009

当館でのおはなし会のプログラムと関連する絵本を、ホームページ上でも紹介します。おうちでもおはなし会をどうぞ。紹介した本は、「あかちゃん絵本」コーナーで展示しています。

http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/kodomocenter/ohanashikai_web_202101

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『どてっ』 田口麻由/作 布川愛子/絵 エンブックス 2020.10 ¥1200

どっしりとしたタケノコ、倒れると「どてっ」。ぶあつい食パン、倒れると「ぼてっ」。緑の細長いアスパラガス、ピンクの犬のぬいぐるみ、三体のマトリョーシカ、青いながぐつ、それぞれどんなふう倒れるのかな？どんな音がするのかな？倒れた時の様子と、その音を想像しながらページをめくると、楽しさ倍増。赤ちゃん向けのテレビ番組の人気企画を絵本化。

<絵本-3, 4歳から>

『みそしるをつくる』 高山なおみ/文 長野陽一/写真 ブロンズ新社 2020.11 ¥1200

お鍋にお水を入れたら、こんぶを1こ、煮干しを5匹。30分待ったら火をつける。小さな火でくつくつ煮たら、お味見してみても、おいしいよ。油あげを切って、おとうふもすくって入れたら、お味噌をとかしてできあがり。子どもたちが一人でもお味噌汁が作れるように、作り方をわかりやすく紹介した、リズムカルな文章も楽しい写真絵本。『おにぎりをつくる』に続く第2弾。

『しんかんせん!』 穂村弘/ぶん 長谷川朗/え くもん出版 2020.11 ¥1400

僕は、初めて一人で新幹線に乗る。緊張でドキドキして、なんだか周りの人が、みんな同じような黒い丸に見える。ママに見送られ、いよいよ出発。ポップな色づかいと、丸や三角や四角や線など、抽象的な形の組み合わせで描かれた、幾何学模様のイラストが新鮮で楽しい。その時々気持ちは変化によって、目の前の世界が違って見えることも表現された、新感覚の絵本。

<絵本-5, 6歳から>

『なにかがいる』 佐藤雅彦/作 ユーフラテス/作 福音館書店 2020.11 ¥900

写真の中に隠れている生き物たちを探してみよう。草むらの中に何かがいる。よく目を凝らしてみたら、ショウリョウバッタがいた！電気コードになりすまして何かがいる。段ボールの上にも、あ、ナナフシだ！海の底にも、何か潜んでいる。トビギンポにコウベダルマガレイだ！感覚を研ぎ澄まして探してみよう。まわりの景色に紛れて、擬態している生き物たちを集めた写真絵本。

<絵本-小学校低学年から>

『きょうはおかぬがないひ』 ケイト・ミルナー/さく こでらあつこ/やく 合同出版 2020.12 ¥1600

ママは、私たちに必要な物を買うために、一生懸命お仕事を頑張っている。お金がなくてもできる楽しいことは、たくさんある。図書館で本を読むことや、歌の練習、ハトと追いかけてこするのもやめられない。でも今日はお金がないから、フードバンクに行かないとね…。生活が苦しくても、明るくたくましく希望をもって生きる母と娘の物語。貧困という社会問題を知ることができる英国の絵本。

『十二支のお雑煮』 川端誠/作 BL出版 2020.12 ¥1400

元旦、十二支の動物たちが集合。まずはみんなでお節料理。ねずみたちは年神さまにごあいさつ。うしは早速初詣。お酒を飲んだり遊んだり。羽根つき、凧揚げ、双六、コマまわし、福笑い、百人一首に書初め…。さるは、十二の鍋に十二種類のお雑煮づくり。いのししが焼いたお餅が入ったらお雑煮のできあがり。日本文化を味わい深い版画で描いた『十二支のお節料理』に続くお正月絵本。

<絵本-小学校中学年から>

『怪物園』 junaida/著 福音館書店 2020.12 ¥1800

怪物園は、はるか昔から怪物たちをのせて長い旅を続けていたが、ある夜、怪物たちが別の世界へ抜け出してしまふ。怪物たちのせいで外で遊べず、退屈した3人の子供たちは、段ボールのバスに乗り、空想の旅へ出発。海底をさまよって歩くたくさんの怪物たちの姿を発見した子供たちは…。細部まで描きこまれた美しい絵をじっくり味わいたい junaida の新作絵本。

<読み物-小学校低学年から>

『おはなしごほん』 大川久乃/作 本田亮/絵 あかね書房 2020.11 ¥1200

風邪をひいて3日も学校を休んでいる小1のとしくん。ベッドでごろごろしていると、「ごほんごほん」と咳き込む声が。本体はとしくんが昔好きだった絵本。長く読んでもらえず風邪をひいたと言う。懐かしくなったとしくんは、お母さんにその絵本を読んでもらうことに。途中、幼い頃の思い出話で盛り上がる二人を見て、絵本はともども元気になる。一人読みこびったりの絵本童話。

<読み物—小学校中学年から>

『ぼくと石の兵士』 リサ・トンプソン/著 榎田理絵/訳 PHP 研究所 2020.11 ¥1400

第一次世界大戦の戦死者を悼んで設置された、戦没者記念庭園にある石の兵士。学校の行き帰りにこの兵士に話しかけていたオーエンにとって、ここは唯一の心の拠り所だった。ところが、公園の改修計画で、石の兵士が取りこわされることに。どうすればこの兵士を救うことができるのか、オーエンは、自分にできるあらゆる手を考える。オーエンの行動とその理由に心動かされる英国の作品。

『ごいっしょさん』 松本聰美/作 佐藤真紀子/絵 国土社 2020.11 ¥1400

体に何か当たったと感じた時に「ごいっしょさん、ごいっしょさん、ごいっしょに」と唱えると、そばこいてパワーをくれるという妖怪〈ごいっしょさん〉。入院している子を励ますために、仕方なくおれが勝手に考えて描いたものなのに、〈ごいっしょさん〉の絵が次々とクラスメイトに回り、なんとおれのところに戻ってきた！〈ごいっしょさん〉パワーが巻き起こす友情物語。

<読み物—小学校高学年から>

『太郎の窓』 中島信子/著 汐文社 2020.11 ¥1500

強い男に育ってほしいという願いをこめて父が名付けた名前「太郎」。太郎はこの名前が嫌でたまらない。遊ぶのも女の子と一緒に好き。トイレも個室に入りたい。服だってかわいいワンピースが着たいのに…。このことを知っているのは、こっそりぬいぐるみを買ってくれた同居の祖母だけ。心と体の違いに苦しむ太郎の成長を描いた、年長から中一までのお話。

『ネムノキをきらないで』 岩瀬成子/作 植田真/絵 文研出版 2020.12 ¥1400

おじいちゃんちにある大きなネムノキを切り倒すことを聞いた伸夫は大反対。結局木は残し枝を切り落とすことになったが、納得できない伸夫は、いらいらした気持ちで部屋のドアを力いっぱい閉めた時、クモをはさんと死なせてしまう。その時から、何か言おうとすると、喉のあたりで急に言葉が消え、うまく話せなくなる。真摯に命に向き合う少年の、小4から小5にかけてのお話。

<読み物—中学生から>

『オルタネート』 加藤シゲアキ/著 新潮社 2020.11 ¥1650

高校生の料理コンテストで優勝を狙う、料理部部長の蓉(いるる)、大阪の高校を中退し、かつてのバンド仲間を探しに単身上京する尚志、マッチングアプリを信奉し、絶対の相手を探す風津(なず)。高校生限定のマッチングアプリ「オルタネート」の利用が当然となっている若者たちが、悩み、傷つきながら、周囲との関係を築く様子を描く。『小説新潮』掲載を加筆し書籍化。直木賞候補作。

『卒業旅行』 小手鞠るい/著 偕成社 2020.11 ¥1400

アメリカで高校生活を送ったナナは、当時バンドを組んでいたメンバーと卒業旅行を約束して帰国。だが、ある事件が起きて旅行は実現せず。1年後、ナナは事件と向き合うべく、メンバーを訪れる旅へ。仲間が銃乱射事件に巻き込まれて亡くなったことへの自責の念、家族の苦しみ、死刑の是非をめぐる論争…。ニューヨーク州在住の作家が、「死」をテーマに日米の若者の姿を描く。

『オール★アメリカン★ボーイズ』 ジェイソン・レノルズ、ブレンダン・カイリー著 中野伶奈/訳 偕成社 2020.12 ¥1500

万引き犯と決めつけられ暴行を受けた黒人少年ラシャド。それを目撃していた同じ高校の白人少年クイン。いわれのない暴力に戸惑うラシャドと、敬愛する人物の暴力に戸惑うクイン。現場の動画が拡散し、若者たちが抗議デモを計画するが、参加をめぐって人々に葛藤が巻き起こる。黒人作家が被害者の黒人少年の視点から、白人作家が目撃者の白人少年の視点から、アメリカの今を描き出す。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『NHK#もしかして… おとなにたたかれたの?おとながたすけてくれないの?』 NHK「#もしかして…」制作班/編 飯田千里/絵 奥山真紀子/監修 金の星社 2020.11 ¥1200

大人に暴力を振るわれたり、ずっと子どもだけでほったらかしにされたり、家に入れてもらえなかったり、ご飯を用意してもらえなかったり。もしそうだったら、勇気を出して、誰かに君の気持ちを話してみよう。きみのこころとからだはきみのもの。NHKで放送された虐待防止啓発アニメーションを絵本化。他に『からだをさわられたの?かぞくのけんかがこわいの?』

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『こども手に職図鑑 AIに取って代われない仕事100』 子供の科学/編 誠文堂新光社 2020.11 ¥2600

新しい職業を含めた、AIにとって代われない、現代の「手に職」と呼べる職業を100種厳選して掲載。その職業で活躍している人に取材し、適正、やりがい、年収の目安など生の声を紹介。なんでもできる「汎用AI」が登場するであろう2045年に、社会の中心になる若者のために書かれた本。難しい単語は、巻末の用語集で解説。「一生モノの職業が一目でわかるマップ」付き。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『潜入!天才科学者の実験室 ④世紀の発明はここで生まれた! ビル・ゲイツほか』 佐藤文隆/編著 くさばよしみ/著 たなべたい/絵 汐文社 2020.11 ¥2500

だれもがコンピューターを使える世の中にしたとて考え、簡単な使い方を発明したビル・ゲイツ。大学の地下のコンピューター室で夜遅くまで親友と話し合った。偉大な発明・発見が生まれた実験室を綿密な考証をもとに詳細なイラストで紹介。発明や発見の瞬間を再現する。『①宇宙にはじまりはある?』『②生き物はなぜ生まれた?』『③「もの」は何かからできている?』の全4巻。

<ノンフィクション—中学生から>

『学校では教えてくれない稼ぐ力の身につけ方 AI時代にサバイバルすることも起業力!』 小幡和輝/著 若林杏樹/マンガ 小学館 2020.11 ¥1300

高校3年生で会社を作り、いまも社長として仕事をしている著者が、大人になる前に「起業する力」、つまり、自分で稼ぐ力を身に付けてほしいと、その方法を漫画も使ってわかりやすく教える。自身の起業するまでのいきさつ、イベント企画のススメ、失敗や成功体験、また、13歳から17歳までの起業家4人へのインタビューなどを紹介。ネット社会や経済の仕組みへの理解も深まる。

<研究書>

『青春の本棚 高中生に寄り添うブックガイド』 高見京子/編著 全国学校図書館協議会 2020.11 ¥1800

悩みを抱え、思索を深める高中生に日々寄り添っている司書教諭や学校司書などが、授業の中で、読書会で、学校図書館で、実際に子供たちに手渡した本を、子供たちの反応と共に紹介する。新旧の小説やノンフィクション、絵本など選書のジャンルも幅広い。現役中高生が紹介する本も掲載しており、中高生のためのブックガイドとしても使える。機関誌『学校図書館』連載を書籍化。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。